

富山の魅力を、 ツアーで伝えたい。

家族みんなで富山に移住。

2006年に東京から富山に移住して、今年で12年目になります。初めは夫が富山に転勤して、単身赴任生活が1年経った頃、「富山に住んで家建てよう」と言い出したことがきっかけです。夫の両親が富山県出身だったことや、子どもたちに故郷を作りたいという思いとも重なり、富山に子ども2人を含む家族6人で移り住むことになりました。

手つかずの自然が、起爆剤。

富山に来たとき、立山と五箇山の二大観光地以外にも魅力的な自然がたくさんあるのに、それらが知られていないと感じました。そこで、富山の自然を舞台としたエコツアーを始めることにしたのです。きっかけは、前職で女性向けの体験型ツアーの企画をしていたこと。参加者たちと一緒に国

内を旅行して、地域の人たちと交流するうちに、観光旅行は単なる遊びではなく、地域の活性化に役立つということに気づいたからです。

富山のファンをつくる。

県外の方には、地元のホテルとタイアップしているガイドツアーが人気です。そのひとつであるスノーシュー体験は雪上を歩くだけでなく、富山に滞在しているいろいろな人たちと交流することで、豊かな時間を提供したいとの思いで始めました。いい思い出を作ることが、富山への再訪につながるのではと思っています。

一方、県内の方には、八尾町大長谷地区を舞台とした「森のキノコでイタリアンツアー」が人気です。地元のガイドと一緒にキノコ探しをすることで、同地区の人々の暮らしを感じることができます。ツアーをきっかけ



▲スノーシュー体験的一幕

にその地区の良さを知ってもらい、ツアーでなくても自分たちで足を運んでもらえるようになっていくといいと思っています。

人を呼ぶのは、人。

富山で仕事を始めて驚いたのは、「私の知人が、友達とも知り合いだった」というように人と人がつながっていること。そのつながりから人や仕事を紹介してもらうなど、どんどん広がっていくことが富山の面白さではないでしょうか。起業に適した地だと思いますね。これまで地元のガイドさんも20人ほど育てています。その取り組みが評価され、2015年には第10回エコツアーリズム大賞で優秀賞を受賞することができました。

エコツアーは、地元の人たちと一緒に作り上げていくことも面白いんです。私たちもお客さんも楽しめるツアーを企画して、富山の魅力をもっと多くの人に伝えていきたいです。



森田 由樹子さん

この連載では、富山で活躍するさまざまな方の「アメイジング（驚くほど素敵）」な富山について掲載します。また、WEBサイトでは皆さんのアメイジングなエピソードも募集しています。
▶詳細は、「アメイジング トヤマ」で検索してください。



▲WEBサイト

森田 由樹子(もりた ゆきこ)さん
東京での新聞社勤務を経て、2006年に家族で富山に移住。2008年、富山のエコツアーやガイドツアーを行う(株)エコロの森 起業。2015年、第10回エコツアーリズム大賞で優秀賞を受賞。